

おはようございます。
レツカちゃんです。

よし

今日はそこまで

あ、ええ

飯にしよう

今日も師匠のご指導の元、
頑張って鍛錬しています！

今日何す、わな

この私と師匠の間には
特別な決まりがあります。

それは…

ええ



この師匠に一度でも勝つことで
師匠に認めてもらえること

ほう

不意打ちか

タイミング

角度 悪くない

だが技の質が酷い

威力

狙い

芯の強さ

全て落第点だ

ウッ…

グサッ
ニ

いつもダメ出しされます。

おっと

17
P2

でも負けません！

!?…ビリッと来る、この威圧感。

ハンパじゃない…！

…まあ

殴ってきたってことは
つまり…

…ハイッ

「試験」

始めていいんだな？

お願いしますッ！

今までの成果を師匠にぶつけて、
「試験」に合格してみせます!!



あッ



犯ッ…アッ…され…ッて…♡た…ッ種…付けッされ♡アッちゃ

まあ

動きは前より良くなった。
足の速さはお前の長所だな。
上手く活かすといい。

あれ…

ししょー…なんか
いつてる…あたまちかちか
してて…わかんないや…

ただ、速さに
頼りすぎだ。
もっと脚を…

聞いてんのか
バカオナホ!!

そのザーメンの
詰まったボテ腹に
蹴りいれてやろうか!?

この後、弟子ちゃんは師匠に腹を何度も蹴られてザーメンが全部噴き出た後、
もう一度犯されて今度は意識がぶっ飛んだ。

ボテ

ドポォッ